

議員提出議案第 5 号

国際的に問題となっている人権侵害・民族差別等の解決を促すよう日本政府に必要措置を求める意見書について

国際的に問題となっている人権侵害・民族差別等の解決を促すよう日本政府に必要措置を求める意見書を次のとおり提出する。

令和 3 年 1 2 月 2 1 日提出

提出者	西条市議会議員	白 坂 均
〃	〃	井 上 浩 二
賛成者	〃	越 智 由美子
〃	〃	森 川 亜 紀
〃	〃	伊 藤 新 平
〃	〃	一 色 輝 雄

国際的に問題となっている人権侵害・民族差別等の解決を促すよう日本政府に必要措置を求める意見書

現在、女性や少数民族などに対する人権侵害行為や民族差別が世界各地で発生し、国際社会からも非難の声が高まっている。

国際的な調査結果によると、これまでに100万人を超える人々が強制的な思想教育や労働、不妊手術などの強要など、非人道的な弾圧を受けているとされており、これらの人権侵害に対し、人権尊重と調査を求める共同声明が国連で表明されている。

日本国は、普遍的価値としての人権及び基本的自由の擁護・促進を基本とし、特に拉致問題などを含め重大な人権侵害や民族差別については懸念を表明するとともに、国際社会と協力し、適切な対応が図られるよう、それぞれの国の個別の状況を踏まえ、対話と協力を通じて人権状況の改善に取り組んでおり、このような人権侵害行為や民族差別は、いかなる国であろうとも許されるものではない。

よって、人権尊重都市宣言を行い、人権問題に真摯に取り組んできた西条市議会としては、国会及び政府において、国際社会と連携した調査を行い、問題が確認された場合には、直ちに人権侵害行為や民族差別をなくし、基本的人権の尊重、自由や民主といった国際社会における人道的かつ普遍的価値が確実に保障されるよう、国際社会に対し、更に強く働きかけることを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月21日

愛媛県西条市議会

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

外務大臣

提案理由
口頭說明